



警告 取り扱いを誤った場合、人の死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意 取り扱いを誤った場合、人が損傷を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容です。

安全にお使いいただくために



警告

- 補聴器本体を、幼児やペットの手の届かないところに保管してください。
- 補聴器本体を、爆発性の環境に持ち込まないで下さい。
- 補聴器本体またはイヤチップなどを誤って飲みこまないように十分注意して下さい。

もし飲み込むような事故があった場合は、直ちに医師にご相談ください。



注意

- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、車の中など、高温になりやすい環境に補聴器本体及び電池を長時間置かないでください。
- MRIスキャンは強い磁力を用いる為、故障の原因になります。MRI室には補聴器を持ち込まないでください。
- レントゲン撮影やCTスキャンなどの画像診断機器は補聴器に悪影響を及ぼす為、撮影時には補聴器を外してください。
- 補聴器を電子レンジで乾かさないでください。内部の電子部品が破壊されてしまいます。
- 浴室など、湿気の多い場所に補聴器本体及び電池を放置しないでください。
- 分解、改造などはしないでください。修理の際は、お求めになられた販売店にご相談ください。
- 電池のフタを無理に開けたり、閉じたりしないでください。故障の原因になります。



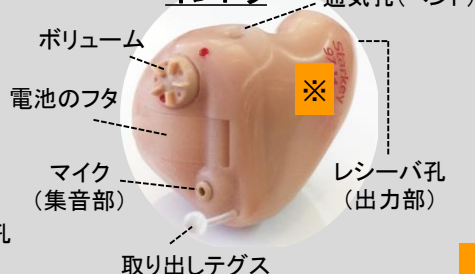
各部のなまえと操作方法

高度用の補聴器としてご使用できます。

カスタマイヤ



イントラ

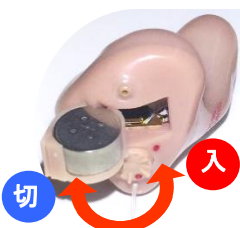


ビーンズ312



※ 製造番号／補聴器の名前: W3-7000

1. 電源の入／切



電源入

電池を電池のフタに入れ、閉めると電源が入ります。

電源切

電池のフタを開けると、電源が切れます。



注意

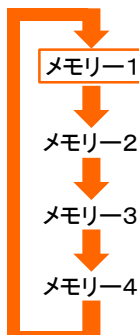
- 電池を入れたままにすると、電池寿命が極端に短くなります。

補聴器を使用しない時は、電池のフタを半開きにして、電源を切ってください。



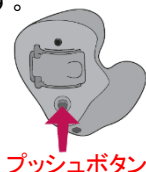
2. メモリーの切換え

※プッシュボタンの場合



※電源を入れた時は、メモリー1の状態です。

プッシュボタンを押すと、次のメモリー設定に切り替わります。メモリーはループします。



プッシュボタン

3. ボリュームの調整

※ダイヤルボリュームの場合

■音を大きくするには



音量つまみを前方に回すと、音が大きくなります。

■音を小さくするには



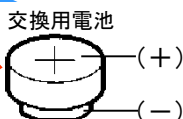
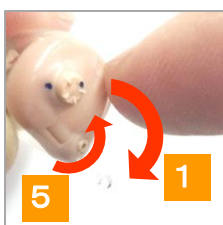
音量つまみを後方に回すと、音が小さくなります。



警告

- ボリュームを上げすぎると、内耳に損傷を与える恐れがあります。販売店にて指定された位置で使用して下さい。

電池を交換するには



1

電池のフタの突起部分に爪をあて、引くように開けます。

2

使用済みの電池を取り出します。

3

電池のシールを剥がします。

4

電池のフタには(+)記号が表示されています。電池の(+)記号がついている面を同じ向きに入れてください。

5

電池のフタをもとどおりに閉めます。



警告

- 電池は幼児やペットの手の届かない所に保管してください。
- 電池を誤って飲み込まないように十分注意してください。
- 飲み込んでしまった場合、直ちに医師の診断を仰いでください。



注意

- 電池シールは使う直前にはがしてください。
- 使用済み電池はゴミとして捨てずに、販売店にお持ちください。

補聴器	ご使用の電池 / シールの色
W3-7000 ビーンズ312	PR41(312) / 茶色
W3-7000 イントラ	PR41(312) / 茶色
W3-7000 カスタマイヤ	PR48(13) / オレンジ色

ビーンズ312 の場合



- 1 テグスを親指と人差し指でつまんで補聴器を支えます。そして抵抗感があるまで、ゆっくり耳の中に入れます。
- 2 耳の中にピッタリ納まるよう指で軽く押し込みます。

イントラ、カスタムイヤ の場合



- 1 補聴器の上部・下部を指先で軽くつまみ、ゆっくり耳のくぼみに落ち着かせます。
- 2 補聴器を押し付けながら、耳たぶを下に引っ張り、しっかりとめ込みます。

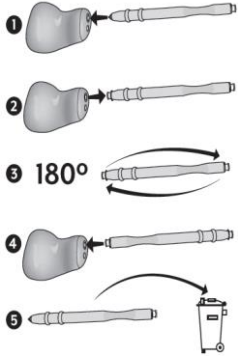
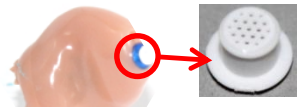


※入り難い場合、痛くない程度に耳たぶを軽く下や後方に軽く引っ張りながら、奥に押し込んでください。

お手入れをするには



レシーバ孔やマイク孔を、付属のブラシや綿棒を使い、付着している耳垢やホコリを取除きます。必要に応じて、ワックスガードを交換します。



注意

- ホワイトワックスガードは弊社純正品をご使用ください。純正品以外をご使用になると、脱落する恐れがあります。
- 装着状態が不安定な場合は外れる恐れがありますので御注意下さい。
- イヤチップ、イヤモールドには、使用状況によりカビが発生することがあります。こまめにお手入れをお願いします。

ホワイトワックスガード(耳垢防止)

※先端がメッシュになっています。音が聞こえない・音が小さいなどの場合には、耳垢によって目詰まりをしている可能性がありますので、修理に出す前に、ホワイトワックスガードを交換してください。ホワイトワックスガード(ワックスガード標準品)はお客様による交換が可能です。

ワックスガードの交換手順

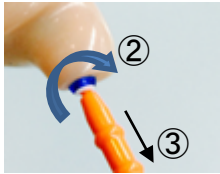
- ① 棒の取り外し側を、補聴器のレシーバ孔に軽く当て時計回りにゆっくり回します。
- ② 棒をまっすぐ引き抜きます。
- ③ 棒を180度反転させます。
- ④ 棒の反対についている新しいワックスガードを、まっすぐ差し込みます。
- ⑤ 取り外したホワイトワックスガードは棒と一緒に廃棄してください。



↓ 取り外し側



ワックスガード側↑



おかしいと思ったら

症状	考えられる原因	対処法
音が聞こえない	○電池切れ	○電池を交換してください。※「電池を交換するには」参照
	○レシーバ・マイク孔の目詰まり	○レシーバ・マイク孔を掃除してください。※「お手入れをするには」参照
	●機械的な故障	●販売店にご相談ください。
ピーピー音がする	○補聴器が正しく装着されていない	○正しく装着してください。※「補聴器を装着するには」参照
	●機械的な故障	●販売店にご相談ください。
音がとぎれる	○電池の消耗	○電池を交換してください。※「電池を交換するには」参照
	●機械的な故障	●販売店にご相談ください。
音が小さい	○電池の消耗	○電池を交換してください。※「電池を交換するには」参照
	○レシーバ孔の目詰まり	○レシーバ孔を掃除してください。※「お手入れをするには」参照
	○マイク開口部の目詰まり	○マイク開口部を掃除してください。※「お手入れをするには」参照
	●機械的な故障	●販売店にご相談ください。
電池交換後、電池のフタが閉まらない	○電池の極性が逆	○正しい向きに入れてください。※「電池を交換するには」参照
	●補聴器内に異物	●販売店にご相談ください。
	●機械的な故障	●販売店にご相談ください。